

## 令和4年度事業計画

国の内外にまん延する新型コロナウイルスによって、観光需要は消失し、観光消費額も大きく落ち込み、観光産業はもとより地域経済や雇用に深刻な影響を与えている。こうした状況を打破し、かつての賑わいを取り戻すべく、令和4年度は会員一致協力して、それぞれの業界ガイドラインを遵守し、感染防止対策を講じて安全安心な観光地経営に努める。加えて、県、市町、地域の観光団体などと連携して、観光魅力の発掘・磨き上げとそれらの発信に取り組むなど、魅力あふれる観光石川を再生し、もって令和6年春の北陸新幹線県内全線開業に向けた諸準備に万全を期す。

## I 組織

- 1 会 員 数 186 団体（令和4年3月18日現在）
- 2 役 員 数（令和4年3月18日現在）
- |       |                   |        |
|-------|-------------------|--------|
| 理 事 長 | 1 名               |        |
| 副理事長  | 5 名（うち専務理事兼務 1 名） |        |
| 理 事   | 26 名              |        |
| 監 事   | 2 名               | 計 34 名 |
- 3 職 員 数（令和4年3月18日現在）
- |                                       |      |        |
|---------------------------------------|------|--------|
| 本 部                                   | 36 名 |        |
| （うちJR西日本出向 1 名、日本旅行出向 1 名、県職員兼務 29 名） |      |        |
| 石川県金沢観光情報センター他                        | 14 名 | 計 50 名 |
- 4 事務局組織（令和4年3月18日現在）
- |       |   |      |   |                         |   |    |      |
|-------|---|------|---|-------------------------|---|----|------|
| 理事長   | — | 副理事長 | — | 事務局長                    | — | 職員 | 49 名 |
| 兼専務理事 |   |      |   | （うち石川県金沢観光情報センター他 14 名） |   |    |      |
- 5 会 議
- |       |             |
|-------|-------------|
| 監 査   | 5 月中旬       |
| 理 事 会 | 5 月 26 日（木） |
| 通常総会  | 6 月 16 日（木） |
| 専門委員会 | 9 月上旬       |
| 理 事 会 | 10 月下旬      |
| 理 事 会 | 3 月下旬       |

## II 実施計画

1 事業活動収入	534,327 千円
1) 経常収益	
① 特定資産運用益	159,809 千円
② 受取会費	14,124 千円
③ 事業収益	150,478 千円
④ 受取補助金	160,412 千円
⑤ 受取負担金	47,830 千円
⑥ 雑収益	1,674 千円
2 公益目的事業	480,383 千円
1) 観光振興事業【公益事業1】	224,015 千円
① 観光情報資料の作成・提供	
○ホームページ「ほっと石川旅ねっと」の運営（非接触型の情報発信強化）	
○総合パンフレット「ほっと石川まるごと観光マップ」の作成（350,000 部）	
○繰り返し訪れる石川の観光ガイドブックの作成	
観光客のニーズや嗜好に応じて石川の魅力を提供するガイドブック	
・初めての観光客向け 「ちょっと石川」（42,000 部）	
・リピーター観光客向け 「もっと石川」（30,000 部）	
○県内の鉄道、バス、タクシーを活用した広域周遊観光のモデルルート等を紹介する周遊観光ガイドブックの作成（10,000 部）	
○電動アシスト自転車周遊マップ「くるっと石川」の作成（10,000 部）	
○「いしかわ観光旅ばすぽーと」の作成（60,000 部）	
観光施設等の利用の際に割引等の特典が受けられるガイドブック	
○観光施設等の詳細な情報を掲載した「観光の手引」の作成（電子版）	
○県内主要観光地の現地案内所を「i」マーク指定箇所として登録	
○公共の宿パンフレットの作成（10,000 部）	
② 地域固有の魅力の発掘・磨き上げ、旅行商品化の推進	
○いしかわの観光資源商品化促進事業	
旅行商品企画マネージャーによる観光素材の発掘・磨き上げ支援と旅行会社への働きかけの強化	
<b>強化</b> ○いしかわ旅行商品プロモーション会議の開催（ファンド事業）	
民間事業者と市町との連携による観光素材の開発支援強化（新年度は採択件数を 20 件へ増加）し、地域の観光素材の旅行商品化に向けた会議の開催（年 2 回）	
○旅行商品造成に対する支援（ファンド事業）	
プロモーション会議で提案された観光素材を盛り込んだモニターツアーの開催支援	
○個人旅行者向け旅行商品販売強化	
地元が発掘・磨き上げた観光素材の個人旅行者向けの販売を支援	
○マスメディア向けプロモーション活動（ファンド事業）	
全国放送など訴求力の高いテレビ番組等への取材助成	

③ 石川県観光ブランドプロデューサー（ファンド事業）

石川県観光ブランドプロデューサー松任谷由実氏のアドバイスによる石川県の観光ブランド向上のための取り組み

④ 観光案内所の運営

○石川県金沢観光情報センターの運営

金沢駅内に設置している「石川県金沢観光情報センター」で観光案内、当日宿泊予約、県内観光地のPRイベント、伝統工芸品等の展示などを実施

○金沢中央観光案内所の運営

金沢市南町の「金沢中央観光案内所」で観光案内、当日宿泊予約、伝統文化等の体験・実演コーナーの運営、手荷物預かりサービスなどを実施

○首都圏アンテナショップ観光案内カウンターの運営

首都圏アンテナショップ「いしかわ百万石物語・江戸本店」内で観光案内を実施

○名古屋観光物産案内所の運営

久屋中日ビル内に設置している「石川県名古屋観光物産案内所」で観光案内を実施

○ほっと石川なにわ館の運営支援

石川県大阪事務所内に設置している「ほっと石川なにわ館」で観光案内業務を支援

○能登の旅情報センターの運営支援

のと里山空港内に設置している「能登の旅情報センター」での観光案内業務を支援

⑤ 観光物産展を活用した情報発信（ファンド事業）

首都圏及び関西圏等の百貨店において、観光物産展「いしかわ百万石物語展」を開催

⑥ 観光石川の次代を担う人材の育成

次代の観光石川を担う人材を育成する「いしかわ観光創造塾」を開講

⑦ 観光振興事業総務費

○観光地域づくりの推進

5つの専門委員会の設置により観光石川の伸展に向けた意見等を集約し、県等に対し施策提案するとともに、行政や関係団体との連携強化を図る取り組みなどを実施

○おいであそばせ運動の推進

ホスピタリティ向上セミナー等の開催

○観光土産品の推奨

観光土産品の開発や品質向上を推進

○観光功労者、優良観光従事者の表彰

○石川「道の駅」利用促進

○観光事業負担金

北陸三県の観光連盟等が連携した広域観光キャンペーンや県内関連団体が実施する観光振興事業に対する負担金の拠出

○旅館産業の育成

旅館産業等の育成等に取り組む団体などに対する助成

○保証資金制度の運営

## 2) 観光キャンペーン事業【公益事業2】

245,368 千円

### (1) ほっと石川キャンペーン事業

#### ① 東日本（首都圏・東北など）からの誘客推進

- 大手私鉄グループ（東急・東武・東京メトロ）と連携した誘客キャンペーン、グループ旅行会社での販促キャンペーンの実施や沿線誌を利用した情報発信
- J R 東日本と連携したアクティブシニア・若年女性を対象とした個人誘客の推進  
J R 東日本のシニアを対象とした会員組織と連携した情報発信、旅行商品の造成、グループ旅行会社及び女性向けWEBサイト・月刊誌と連携した情報発信、旅行商品の造成
- 東北地方における大手旅行会社・交通事業者との連携  
旅行会社による旅行商品販促キャンペーン、地元タウン誌及びインターネットを活用した情報発信
- 日本郵便（株）と連携した宮城県の主要郵便局での情報発信
- 石川の観光情報を掲載したタブロイド誌を発行し、首都圏や東北、長野県で配布

#### ② 西日本（関西圏・中京圏）からの誘客推進

- 大手私鉄（阪急阪神・名鉄・京阪・近鉄等）との連携  
沿線誌での記事掲載や駅構内のサイネージの活用による情報発信
- J R 西日本グループとの連携  
グループ旅行会社（日本旅行）による旅行商品販促キャンペーンの実施
- 新規** ○**コロナ禍でも旅行ニーズの高い若年女性を対象とした個人誘客の推進**  
**京阪神エルマガジン社との連携による若年女性向け情報誌「SAVVY」での記事掲載、SNSでの情報発信**
- 福井県と連携したマイカー誘客推進  
関西・中京圏からの道中の観光施設等を巡るドライブコース等のPR、石川・福井エリアを対象とした高速道路周遊パスの利用促進に向けたパンフレットの作成
- 高速道路周遊パス「いしかわ宿泊商品券付きフリーパス」の運用  
NEXCO中日本と連携して造成した高速道路周遊パス「いしかわ宿泊商品券付きフリーパス」の事務局として、同社との連絡調整、精算手続き等を一元的に実施
- J A F（日本自動車連盟）とのタイアップ  
会員ホームページでの情報発信や会員向けイベント・会員誌を活用したPRの実施

新規

#### ③ ツーリズムEXPOジャパン2022への出展（ファンド事業）

日本最大級の旅行博に出展し、北陸新幹線県内全線開業をPR

新規

#### ④ 結婚情報誌と連携した本県への新婚旅行のPR

コロナ禍で新婚旅行先を海外から国内に切り替える動きがあることから、大手結婚情報誌と連携した魅力発信と旅行商品造成の実施

#### ⑤ 「いしかわ観光コンシェルジュ」による旅行商品販売強化

いしかわ観光コンシェルジュ（本県観光に精通した店舗販売員）を三大都市圏等に配置

⑥ インターネット広告を活用した戦略的プロモーション

本県の歴史・文化・食・自然の魅力をストレートに訴求するPR動画の制作  
大手検索サイトやSNSを活用した誘客プロモーションの実施

⑦ MICE等団体誘致

各種団体が行なう会議・研修・団体旅行等の誘致

(2) ようこそ加賀百万石の旅

① JRタイアップ北陸三県共同による広域キャンペーン

○JRと北陸三県連携による通年誘客キャンペーンの展開

- ・「日本の美は、北陸にあり。」キャンペーン（4月～11月）
- ・「Japanese Beauty Hokuriku」キャンペーン（12月～3月）

② 加賀・能登・金沢の観光魅力アップ事業（ファンド事業）

地域ならではの魅力の磨き上げや誘客イベントの開催

○加賀地域

加賀地域が一体となった伝統工芸や物産等をテーマとしたスタンプラリーの実施  
光をテーマとしたナイトイベントPRなど

○能登地域

「能登ふるさと博」及びかほくエリアでのイベントの開催に、祭り・食・体験などの  
テーマ別コースや、SSTR10周年に合わせた特別コースの設定したスタンプラリーの  
実施。また、能登の里山里海・祭り等をテーマとしたイベントを開催

○金沢地域

冬の夜の金沢を舞台に歴史的建造物と音楽をテーマとした誘客イベントの開催

③ 観光石川魅力アップ事業

○ウェルカムいしかわの推進

県民総ぐるみで取り組む「おもてなし」の実践に向け、観光事業者・一般県民を対  
象とした「おもてなし講座」を開催

○加賀百万石ウォークの実施

観光ボランティアガイドの案内で県内各地の観光地を歩いて巡るツアーの実施

④ お客様の声を活かすおもてなし向上事業

おもてなし力向上を図るため、来県されたお客様のご意見をお聞きし、良い意見・  
悪い意見を問わず業界全体で共有

強化

⑤ 教育旅行の誘致推進

首都圏に加え、新たに関西・中京圏の旅行会社修学旅行担当者招へい、SDGs体  
験学習プログラムの開発など

3) 海外誘客促進事業【公益事業3】

11,000 千円

① 外国人旅行者のニーズに対応した観光素材の磨き上げ（ファンド事業）

インバウンドの再開を見据え、コロナ後の新たなニーズに対応した観光素材を磨き上げるため、観光事業者を対象に研修会を開催

② メディアと連携した魅力発信（ファンド事業）

海外メディア等の県内視察に対する滞在費等の一部を助成

③ 情報発信事業

○多言語パンフレットの印刷

言語：中国語（繁体字、簡体字）、韓国語、タイ語、インドネシア語、英語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、スペイン語

強化

○メールマガジン配信やSNS・ウェブサイトによる情報発信

フランス語版ウェブサイトを制作し、観光魅力の発信を強化

（ウェブサイト対応言語：英語、中国語（繁体字）に加え、フランス語を追加）

3 収益事業

998 千円

石川県金沢観光情報センター及び金沢中央観光案内所における各種サービスの実施

当日宿泊予約、金沢周遊フリー乗車券、食事クーポン、simカードの販売など

4 法人会計

28,409 千円

連盟運営費に係る人件費、事務費等